

# 一般質問通告書

受領日時 令和2年6月1日 (午前) 午後10時00分 5番 氏名 椎名 志保

質問項目	質問の要旨
1. 新型コロナウイルス感染症対策関連について	<p>(1) 中小企業事業継続支援事業について、1事業者につき法人には20万円、個人には10万円という一律給付は影響のあったところ、そうでないところに差が生じ、平等な支援と言えるのか。実状の把握に努めることをしたか。</p> <p>(2) 事業者に対する持続化給付金、雇用調整助成金といった国の支援策は、十分に周知されているか。 事業者に対し、きめ細かい呼びかけはできないものか。</p> <p>(3) 県内多くの市町村では、県内外で学生生活を送る予備校生や大学生への支援策を打ち出している。学生に対する支援は行わないのか。</p> <p>(4) 長い休校生活を余儀なくされ、久しぶりに登校した児童・生徒の様子はどうか。 保護者からは学習の遅れ、受験対策、夏休み期間中の出校もあるならば、エアコンの無い小学校での暑さ対策などに不安の声が聞かれている。今後の学校生活はどうか。</p> <p>(5) 今後再び感染の恐れがあり、休校の措置が取られた場合を想定し、オンライン授業の準備を進める必要があるのではないか。子どもがネット上のトラブルに巻き込まれることがないように、まずは保護者が基礎知識を学ぶ機会を設けてはどうか。</p> <p>(6) 老人介護施設などに感染者が出た場合の各事業所の対応を町として把握しておくべきではないか。 必要であれば、使える空き家の確保や町有施設の提供など、町としてできる支援の備えをすべきではないか。</p>
2. もりやまこども園の運営について	<p>(1) 一昨年、昨年と赤字経営が続いている。大川分園の維持が大きな負担となっている中、町として分園の存続を求めていくなれば、経済的な支援が必要ではないか。</p> <p>(2) 園で起こること、また経営や行われる保育・教育について、もっと町と話し合いを持って進めていきたいということであるが、園は相談先に苦慮している。園と行政をつなげる専門員を配置できないか。</p>
3. 地域図書室のあり方と学校と地域の関わりについて	<p>(1) 昨年度行われた地域図書室についてのスクールトークのまとめをどのようにとらえているか。町民の方々に示す機会を考えているか。</p> <p>(2) 今年度から導入されているコミュニティスクール制度をどう進めていくのか。</p>